

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-157)、
廃棄物管理施設(132))」

2. 日時:令和6年2月28日(水) 11時00分~12時10分

3. 場所:原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、岸野主任安全審査官、羽場崎

主任安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他2名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの当日提出資料に基づき、設工認申請の対応状況(地盤モデルの次回審査会合での説明事項)について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

・地盤モデルの説明について、ばらつきや不確かさといった表現が全体として整合する考え方で使われているかなど資料を精査する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

「設工認申請の対応状況について」

参考

・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）

「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	それではただいまから日本原燃株式会社とのヒアリングを開始いたします。本日のヒアリングは、令和4年12月26日に坪田再処理施設及び廃棄物管理施設の設工認申請について、
0:00:14	本日提出の資料ですね、オオモト技術確認を行うとともに、
0:00:18	ものになります。
0:00:19	規制庁の出席者は、本庁から発生側ハバサキコサクオノWebから丹下キシノとなっています。それでは、日本原燃から出席者の紹介と、
0:00:33	資料の紹介をお願いいたします。はい日本原燃の勝でございます。私の方から出席者の方、ご紹介させていただきます。日本原燃よりケツクノモトオガセ。
0:00:43	あと6ヶ所と東京支社より弊社の事務局とサポート課が出席してございます。以上です。
0:00:52	はい。
0:00:54	それでは本日のですね、ご確認いただきたい、ご説明いたしまして、資料はですね、介護資料のカノウニワー番昨日鹿庭シモノオオウチでございます。
0:01:05	これ、特にちょっと今日、究極いたしましたのは、主にソネセンナナゴセキ2もちろんモデルの設定、233ページでございますけども、
0:01:15	ここからのところの、主に2点、その減衰の、一定減衰の設定に係るプロジェクトだと思う。それから、理由4グループの
0:01:26	設定のところのモデルの設定の考え方この2点について、昨日から全面的に直して参りましたので、そのところをご確認いただく必要があるかというふうに考えてございます。
0:01:39	うん。まず、236ページをご覧いただきましてこれ岩盤の減衰定数についてのセキのところでございますけれども、
0:01:49	はい。はい、吉井事務局長わかりました。はい。
0:01:59	東側④エリア、でございますけどもこのモデル、
0:02:08	これが、最終的な結果というのは資料の方で資料全体の中で、そういう流れになってると説明した。はい。
0:02:17	いたしました。そしたら、
0:02:20	まずは、
0:02:21	話がミイオノオガタさんさんからです。
0:02:25	物語ふうに説明して欲しい。
0:02:29	はい。
0:02:30	3サンゴ当てはめたらいい。
0:02:34	ウダの信頼性とかも、はい、3ポツの適用のところから、

0:02:42	前の割り当ての結果といたしましては 30、8 ページに一覧がございまして、19 時でまだ 24 号のこと。
0:02:52	岩野フジイわかってないけども、どんどんやって、
0:02:55	物語ふうにしやべってます。
0:02:58	はい。
0:02:59	その中に、
0:03:01	はい。はい。
0:03:03	この時点、そうですね。この時点ではですね、非従業員に相当する、これ向こうとしてこれ 3 コウクリバヤシできるということとエザワ検層に相当するボーリンクとして、2 個振り分けてると。
0:03:17	こういうふうな部分になってございます。この全体に基づきまして、この敷地内でのデータですね在り様から扱いを検討したのが 4 章でございましてということで地表の
0:03:30	158、8、58。
0:03:33	158 ページからが、この 24 グループの設定でございます。
0:03:39	ここで、もし、等を申し上げておりますのがこの敷地の中ですね、この参考のボルトがあるわけですけれども、ここ西来のありようを見たときに、
0:03:52	平均化してですね扱うような他の地盤のようには、扱うことができない一番であると、いうことをこの中で確認してございます。
0:04:02	その確認を踏まえましてですねデータの振り分けといたしまして、まずですね、この 1036 のこの下盤側のセンターにつきましてはこれは下盤側に、
0:04:17	しっかり載っているデータであるということでこの下盤側のデータを使う、それから次 14 と、次 16 につきましては、これ不伴とんところの話。
0:04:29	3、158159 名。はい。
0:04:37	158 の、今ですね江藤山根の、知った、先ほど三つ目のことを申し上げておりました。
0:04:45	で、今回揚げ場の下、36 インタ版に全部載ってる絵はないってことだね。
0:04:54	えーとですね。
0:04:55	なんですけど、158 ページの右上の断面図がありますが、そのEW山ちょっと小さくて恐縮なんですけど、授業となり、G30 の登園のところ、
0:05:06	緑、
0:05:08	下が、
0:05:13	着地

0:05:14	すいません。
0:05:18	26と24ですけれども、16については断層の上盤側の地盤に設置されていると、ということとそれから基準イデは、はい。
0:05:29	で授業96につきましてはRと旧4号と一番諏訪に落ちると。
0:05:34	ここは振り分けにしているというところでございます。
0:05:40	こういうデータを振り分けを、岩盤部の物性値については、した上でですね、あとまた減衰につきましては、こちらはですね、
0:05:58	60、
0:06:03	164ページ目としましてその検層の振り分けでございます。で、ここではですね先ほどのように、グループ内のデータとして同じ規格構造であると判断できないと。
0:06:16	ということで、断層の上盤側下盤側それぞれにおいて参照するデータを制定することにしてございます。
0:06:22	1036については下盤側の一番柏原イケダさんである山丸ある呼吸参考、それから1926については、上盤側ぞ地盤が支配的なエリアで、
0:06:34	あるということ等もあるんですけども、まじ14、直下においては下盤側基盤もポンプするというのもあわせて、このアンドウ9サンゴにおけるアノエさ検層データも同時に参照するというところでございます。
0:06:48	ただこれ他のグループと違いますのはこれ、このですね敷地内を同じ地盤として扱うことはできないという、もう一つの物がございますので、そこにできる人、はい。
0:06:59	NoハタRiskです。はい。
0:07:05	増田さんナガエが、はい。
0:07:09	ちょっと確認したいだけなんではい。はい。
0:07:11	こういうところさ、4とか、昨日の段階でまた何か変ないじったりしてね、何かやってたでしょ。
0:07:19	はい。はい。そういうところもこれは直って、
0:07:24	直してきたつもりでもあります。だから後ろの方だけ直すと。はい。はい。ガウンとの関係が難しくなったりしますよっていう、それだけ。そうですね。はい。原燃のオガセ、おっしゃる通り、この後だけ直すというのがベースではあるんですが、それで4ポツの前に、
0:07:42	ちょっとずれてしまうところを、何ですかね、筋が通るように直したのはその数字をちゃんと、はい、説明して欲しいのが物語ということです。
0:07:57	ちょっと、途中からの話になりますが、物語というところでちょっと177ページを見ていただければおそらく多分コウも私、
0:08:06	いう形の資料の中が物語が成立してるかを確認したいと言ってるから、164もは、ここが二つ残してる。

0:08:17	155 ではこういうことやってる、157 ではこういう整理してると思う。パンパンパンリスクありましたね。あるならばですね、158 から戻って、
0:08:29	いやもう 150、50、164 から 10、160 はいわかりました。はい。164 のところに関しては、はい。このページ 14。
0:08:40	は坂野地盤としてはバンドウ地盤。
0:08:43	年タバタシバの両方のデータを見ることにします。
0:08:47	それを踏まえて、データを、じゃあどういうふうに、どのようなデータを用いて、今後、いわゆるアズイズの達成、地下構造を決めていくかというものが 176 ページになります。
0:09:05	で、176 ページ、表があって、すいません、177 ページ。
0:09:10	でございますけれども、
0:09:12	はい。
0:09:12	ちょっと図の方、177 ページをご覧くださいながら、お詫びをしております。で、14、16 というところを説明する時にはさ、結局最後 68 ページで、
0:09:24	169 ページの、
0:09:27	差なんだよ。
0:09:29	こいつはもともと一緒だったんじゃない。
0:09:41	違うんだっけ。
0:09:44	すいません。168 ページではですね、AとAの岩盤のところ色を変えて不2 種類残しておりますし、エザワ検査のCC-5 のところも、それは結果だから、なぜ、
0:09:58	だから、もともとね、本来だったら、
0:10:01	刀禰G14 グループは、1 枚でいいわけですよ。はい。
0:10:06	ね。それが 2 万になってるわけですね、二つは、普通データね。はい。で、
0:10:11	このね、理由っていうのが宇和版出しタバタって話を。はい。なり、同じ立場に載ってますとか、両方に載ってますっていう話なんでしょうね。
0:10:24	だからさ違いっていうのは先についてはいろいろさね。
0:10:30	の違いだけを作成すればいい、こっち側はこの部分だけ残しましたっていうことなんですよ。それが結果なんじゃない。
0:10:41	それでオレンジの熱戦っていうのは、両方で使ってるっていうことなんですよ。この次 14 というのは、
0:10:48	一つなんだけどこいつは平均しちゃいけないんだけど、
0:10:52	ね。
0:10:53	ね、両方の状況を見るために、こういうふうになってますっていうことなんだよね。

0:11:01	でも明らかにね、こっちの。
0:11:03	次 14 とか、次 16 の Vs っていうのはね。なんかばらついちゃってるところもあるよねみたいな、そういうことになってんでしょだったらみんな平均しちゃいけないやつなんでしょ。塊としては、
0:11:17	ね。G30 四つはもう、ここはローカルで。はい。
0:11:23	したりとかそういうことなんでしょ。
0:11:26	ね。
0:11:27	データ少ないけれども、
0:11:30	電子がないっていう、そういうことだよ。はい。
0:11:41	で、160 湯浅成沢坂のデータとしてさ、
0:11:47	柳下神田がちよっと一井さん 16 アダチーってなって、
0:11:51	で使ったデータは、ババナカ下盤のどっちかに載ってるわけじゃんね。それがさ、
0:11:57	片方側の宇和盤のデータに、ここはさ、なぜ宇和盤と下盤で、
0:12:04	整理はし、椎名怒ったのかっていう
0:12:10	宇和版をコウですとか下盤はこうですっていう整理の仕方はあった。はい。はい。
0:12:17	そこが 158 ページの、
0:12:20	下から三つ目の矢羽根に、次 36 は、
0:12:23	もう一応ぎりぎりだけでも、下盤に出るっていうという判断をして、そうじゃなくて、それは建物を、
0:12:31	の部分を中心にしまっているんだよ。
0:12:35	はい。例えば、はい。
0:12:37	A 言い方に今、全部なってる。うん。
0:12:40	なんだけど我々地盤を見に行ってるわけだから、このエリアはね。実はね、藤断層が走っていて、うん、宇和盤。
0:12:51	のケースと下盤のケースがあり得るっていうことなんでしょ。はい。
0:12:56	だから、宇和盤と下盤側でもいいよね。はい。
0:13:01	根井地盤のモデルの話をしてるから宇和盤の構造はこうなってる下ババコウなんていうことで業界がこうなってると思うんだよね。はい。何でそうじゃなかったんだ。
0:13:20	どうした。
0:13:25	いや、データの見方としては宇和番号番下盤をした場合でのデータで見ちゃった方が楽だよ。あります。はい。根井。
0:13:36	この次、
0:13:39	9-10G14 エリアは総右腕とした坂野。

0:13:43	混乱してる問題ということなんですけど、だからねそうそう、何が言いたかったかしたら、G36 で使ったワダ梶田ババのどっちかのデータは、
0:13:55	G14 とかG16 のは坂のケース、
0:14:00	使えるんでしょって。
0:14:06	だから、R5-9-3 がなぜ次 14 とG16 で使ってないですかっていう質問の方がいいかな。
0:14:17	イチカワ。
0:14:21	うん。
0:14:24	樽井アノ元すいません、やってなかったんです。
0:14:29	50 ってなってくる。
0:14:31	夕日というか、
0:14:33	158 の右上の図、右上の図でございます。今、管理官おっしゃったように、さっきの実態、
0:14:40	断面図、
0:14:43	いわゆるこの断面っていうのは、下盤の地盤に載ってるんじゃなくて、
0:14:48	この発注は次の 16 やから、ハッチングに近いこのオレンジのポツ。
0:14:54	これを使った、
0:14:58	計算だから簡単なんだよ。
0:15:00	うわ版のデータ、これ下盤のデータでね、アシダ版のデータは、下盤の D た。
0:15:08	そしてやればいいじゃん。そう。そうです。はい。
0:15:14	でもそういうことはしてないんだよ。
0:15:17	建物から見た地盤地下構造として整理がされてるんだよ。
0:15:26	ああ。
0:15:28	宗田こ
0:15:30	で、ここの、
0:15:31	2 番というのは、この上側の構造としてのこの二つがあって、境界がこういう構造になっているところでなぜ今まではそれぞれのモデルを設定いたしますまず、
0:15:43	それぞれそしたら、建物に今度は着目したときに、それぞれどのように、この作ったモデルを振り分けられるかということを考えにある地層側に乗ってるエリアとしては、事例 2 わかります。それぞれのエリアで使うデータはこれですが挟まってからの話かな。
0:16:03	ヤマトじゃ別の聞き方をすると、
0:16:06	G14 とG16 は二つのデータを使っています。
0:16:11	G36 は一つのデータしか使ってません。なぜですか。

0:16:17	メディアが違うからですよっていうのは、その宇和版に載ってるエリアとした。
0:16:23	うん。違うからです。なんでしょう。じゃあ佐治 14 とG16 はどっちのさ、ババによって、右腕です。
0:16:32	でも、イシタニイソベは作りこんでるねとかそっちのって、
0:16:37	ババんです。
0:16:38	地下構造全体として見たら、操作盤のデータを使わなくていいですか。これはだからそういう意味だよ。建物は岩盤に根切り乗ってるかもしれないけれども、
0:16:51	地下構造は、ここ下盤が支配的なね、エリアがたくさんあるってことなんだよね。はい。だから下盤のデータを作らないとかって聞いているんじゃないよ。
0:17:01	だから、和文と寿版両方に載っているというのは、これについては、だからソネシバ版だけの時 36 のデータをなぜ次 14 とG16 で使わないのかっていう、
0:17:15	ですね。だから、あれです。1、Xコウの方を使うことで、じゃあだからなぜ、
0:17:24	はい。
0:17:25	ね。
0:17:27	同じイシタ版のデータだよ。イシタが支配的なデータだよ。はい。なのになんで使わないのかって聞いている。
0:17:37	理解しましたね。
0:17:39	今、事実を言うと、三つ上がって、はい。G16 は、もう一番足この下盤onlyのところ使ってる。
0:17:49	次 101046 は、この 158 ページの右上の図でいくと、これ、下の方のオレンジと青のアノ使ってる。
0:17:59	これで、上と下あらわしてるけども、もう 1 個上のG16 のところこれ下あらわしてる図面やから。はい。これを使わなくていいのかという考察が全くされてない。いや、そこに。そう。
0:18:11	考察が 159 ページの、
0:18:14	東西南北の北構造を想定して、向こう側、久田伴のデータを当てはめて、ここですね規格を作って、検証してみたっていうのがこの
0:18:27	それに対する答えになるんだというふうに思っています。ここまで来ると、はい。
0:18:34	G14、G16 アノスハッチングに近いところへ、オレンジを使っていないんだよ。

0:18:43	オレンジをもとにした、この建物直下の構造として、このピンクのところの、建屋西端の近くに相当する、この検討も行ってると。
0:18:58	ということです。それが小さいから使わなくていいんでそれを比較した結果として、今回、たまたまと言えればあれですけども結果として、この水色とオオキ緑を使うことにしたというこういう話になっているというふうに思っております。
0:19:13	ここで品、俺、オレンジの線を入れて検証はしたけども、はい。
0:19:18	スペクトが小さいんで無視しましたということ、
0:19:26	単なるこれ物性の話しか今してないました。うん。
0:19:29	物性として、いや、何でこういうことをね。うん。今はしてたら言ってるから。
0:19:36	両方のデータは坂のデータと下盤のDたを両方見ますという結論に達してるんだよね。はい。うん。そしたらね、下盤は下盤のデータを、
0:19:47	フルタツジしないといけないほうがいいんじゃないか。そうするとその近くに十字いうオンダところの、R5-9-3 ってやつがいるんだよね。はい。
0:19:59	ていう、これ下盤の丸ごとデータでね、このピンクのところ撮ったやつと、うん。多分似たような部分があるんだけどね、あるにもかかわらず、
0:20:12	ね、そのデータは使われてないんだけど、
0:20:16	何でって、
0:20:19	多分ね、した下盤を主にしたものを、最後使うわけだよね。ババのものでですから、一緒のやつを使って、なるほど。そこには断層がないものとして、2 ケース。
0:20:33	やるわけだよね。
0:20:35	ないんで、ただそういうふうな結論に至ったときに、なぜ、自重用に近いところの下のいわゆる下盤のデータっていうのが、割とコガ率をPRアシダバンドウとすると、
0:20:49	この下盤のDたとして使わないんですかっていう。
0:20:56	そうですね。そうなんすかね。はい。今は先ほど、今はなぜ、
0:21:04	今、すいませんあの、実は 150、169 が 59 で、応答を見て、そこが小さいのもうそこで切ってしまいましたってやっちゃっている状態です。そうは関係ないでしょう。精緻な話をさせていただいたから。
0:21:18	はい。
0:21:20	ここで切るのは少しはい。
0:21:25	なんて。
0:21:26	この時点、現状でございます。何でに対する答えはもうこの時点で応答での取捨といいますか見るところをご説明するという考え方で高速で評

	価してたんですけど、それでいいのかということに対する答えになってないんですはい。
0:21:44	うん。
0:21:46	おっしゃる通り、G14 のそのオレンジの、
0:21:50	やつはPはPを離れた番なんですね。そうですね他のやつはちょっと次、緑のやつはええんですけど、青ナカマ実験なんですねこれね。
0:22:01	ピュアを最後まで持ってきて、
0:22:04	最後のところで判断すべき内容になるかもしれない。はい。はい。
0:22:09	問題なしとか、そうその方が綺麗に。それは今回、金さん、2 番底として扱えないという作業ということですね。はい。最後で使って最後ですね、H-X-2 ってやつがいるんです。
0:22:24	だよ。この中にねはい。こいつよりは伴とか下盤は別のR5-9-3 とか 9-4 っていうのがね、こいつらが主なんだよね。そうですね。
0:22:36	物性値としてはね、ピアピュア、はい。
0:22:40	なんでしょう。うん。まだ安いみたいなのはこれ両方乗っかってきて。そうです。要するに総合的な減衰見てるからっていうのではね。
0:22:50	近いところっていうのはあるんだけど、単なる物性値だけを見たときにはVsみたいなね。うん。
0:22:58	こういうピュアなところっていうようなもの同士になっちゃうわけでしょ。はい。なので、
0:23:05	こういう部分が、
0:23:07	もう 1 回そういうところに戻って、
0:23:10	ね。
0:23:11	検討が本来されるべきはい。
0:23:16	なんじゃないかなあって、何でって、はい。
0:23:21	ここで切り呉より、最後まで持っていけないといけないかという認識でありました。はい。はい。やっぱそうするとね。はい。いや要するにやり方は変わらないけど、データの扱い方っていう意味では、
0:23:34	少しもうちょっと検討があるんじゃないか。はい。
0:23:40	はい。どうなんだよ。これを持っていったときに、
0:23:45	何個持っていく。
0:23:47	三つか。
0:23:51	この 8136 の方の電話版の部分的には使えるのが、下盤のねはい。真ん中のやつも使えるんだよねはい。
0:24:05	ゆ要するに下盤のデータは坂のデータを、
0:24:12	していくのか、だからどこどこでね、皆さんはこの分割を、
0:24:18	決定しているんだっていうことだよ、最終的なね。

0:24:23	やはり 30、
0:24:25	そうじゃないところで、
0:24:28	ピュアにしたがってる 39 は従うのでそこは 14、16 は、
0:24:34	まだ、
0:24:38	宇和版のデータを見ましたらバンドデータ見ましょう。あとまざってるところ、HXもあるのでそれを見ましょうという、
0:24:45	見てみないといけない。
0:24:48	結局ね、何を見てるんだらうっていうことなんだけど、物性値としてのある岩種の物性値を理解をしていってるのか。
0:24:59	内部でっていうところ。
0:25:04	理解ですよ。
0:25:06	はい。
0:25:07	なかなか私も今ちょっと小さい職場でしたがそうじゃなくて多分、地盤として上側だけで構成されてるところはがんのデータを一番として、断層でかかっているところは、それぞれの結果、
0:25:18	だからここはG1046 については、三つ残して最後まで持って行って最後で判断しないとイケない。
0:25:26	うんだからね、ただ、これね、重要なのか、例えば、宇和盤と下盤側まざっているような、いろいろデータ同士を平均化をとってはいけないとか、
0:25:39	そういうデータのハンドリング問題なんだよね。
0:25:44	ていう。
0:25:45	ことなんだよね。ただそういうふうに、
0:25:47	下の下盤のそういう地質構造として考えていくっていうそういう部分が、本来何かね。いや結果にどれほど影響するかって言う意味では、
0:26:00	ちょっとそれはわからないんですね。そんなことはないのでは行かないとイケない。
0:26:05	冒頭で最後、
0:26:08	だから、最終的に、G14 とかね。G16 呉のは坂ました。宇和版のデータっていうのは、
0:26:18	数が少ないからもそれなんだけど、下盤側のデータっていうのは、むしろH-Xのなんかぐちゃぐちゃしてるやつより、
0:26:28	こいつにもう一本、嫌なやつを入れた。
0:26:32	時に、
0:26:33	どう見るかっていうのは大分違って来るよね。こいつ混在データでしょ。はい。はい。
0:26:40	だからさ。

0:26:42	何滴倍ぐらいイワサコウごとに、緑と赤になってるんだけど、実はね、あかん中でも、宇和版とした場合というふうな見方をしたら、
0:26:53	ね、変わってくるわけですね。
0:26:55	だから面白いことにだから、宇和坂野Dた下盤のデータってやったときに、両方ませこぜで、
0:27:03	実は平均できたんですよね。
0:27:06	下の方になってくる緑に寄ってきたりするかもしれない
0:27:09	とか、わかる言ってること、同じデータを層ごとの下盤に載ってるデータごとに平均することもできる。
0:27:23	から、リックスのその断層を入れた上のデータは版として扱う。うん。
0:27:29	うん。だからここに和布刈にね断層のね、絵を入れた、するじゃん。
0:27:36	はい。はい。
0:27:37	ていう見方はあるよねと。
0:27:43	何年ていうことがわかってきた。
0:27:50	全然、
0:27:52	うん。
0:27:53	青は上下ありますか。
0:27:56	ここに断層の切れたと。
0:27:59	ここですと。うん。結局ね、
0:28:01	何て言うのかな。
0:28:03	断面で見たときに、もう同じどの地層がね、どう、どういう食っセンナってるのかっていうのを実は見てるんだよね。
0:28:14	でしょ。
0:28:15	ね。
0:28:17	基本はだから多分地層ごとにみんな決まってるんだよね。
0:28:21	ここは結構複雑IIなんで。いやなってるんだけどね。例えばさ、こうね、は坂野サクマ幾つかセ緑とさ。
0:28:31	何か代表みたいなトピックとかなってるじゃん。こここいつところでみんなデータ取ってるわけでしょ。はい。
0:28:37	根井。はい。
0:28:38	だからその例えデータ同士っていうのはね。
0:28:43	平均見てもいいかもしれないよね。
0:28:47	上下で割るということですねちょっと別の。うん。はい。
0:28:53	ていう、そういう言い方とかいろいろあるよねっていうこと。はい。はい。うん。
0:29:00	なんでそういうふうじゃないんだろうね。
0:29:04	はい。

0:29:08	ハードとして残していますか。
0:29:13	今、
0:29:16	日本原燃決得ですけども今、
0:29:19	R59-5999 のさ、これ、上、自重、はい。
0:29:25	弓野さんから、16939393 はピュアなんでこれはピュアとして、明日伴ピュアで緑の、
0:29:34	94 が
0:29:35	宇和版ピュアであると。それと、青、オカ、これな。はい。はい。青野谷津は、
0:29:42	両方入ってるんで、何で切れていると。はい。上川宇和まで使えるやろしたかは、
0:29:48	下まで使える。
0:29:50	だから下したした同士を平均するというのは、植野小ハマダでしたかどうかというのとは別の問題としてね。
0:30:00	いずれにしろこの三つの穴をちゃんと評価した、最後まで持っていかないと、ここでだから、途中でこう振り分けた。
0:30:09	合理的な理由があれば、それはいいんだけどっていう、だからデータがフル活用できてるんですかね、ここはっていう、うん。疑問がわくの中で今、
0:30:20	はい。
0:30:21	あるんで、疑問の事象は、
0:30:24	適切に説明を
0:30:27	するしかないし、
0:30:32	いや、だから、そういうところも、最初の、
0:30:36	ね。
0:30:37	方針にちゃんと乗っかっていきますか、ということだよね。
0:30:41	データをしっかりね、
0:30:44	向き合うと。
0:30:46	ということだよね。はい。向き合いましたかっていう。はい。
0:30:50	いうだけなんですね。向き合ったら説明ができる。はい。
0:31:07	そういう、
0:31:12	最終的な地下構造が、
0:31:15	宇和番データは、
0:31:17	こういう部分はこうでした一般の構造はこういうふうになってますっていうのが多分セイリガクなってるんだよね。うん。
0:31:25	じゃないの。
0:31:28	ね。

0:31:29	両方のデータ持ってるから、2次元でもできるし、うん。ね、それぞれもできますよっていうだけだよな。
0:31:39	ていうのが、熱でどうしますかっていう結論が、この先にあるんだよな。
0:31:44	そうすると、宇和版のデータはこうです、下盤のデータはこうです、できる方が、
0:31:50	そういうことになるよね。だから、G14の直下側の構造がこうなってますっていうのは、それはそれでいいんだけど、
0:31:59	じゃあ物性ジワツはいなくなったときには、
0:32:04	はい。
0:32:05	おっしゃる通り他のところのダム出せないところは平均して使うという
0:32:11	方針がありますので、使える。
0:32:14	だから、そういうないとかじゃないんだよ、そういうのがないとかあるとかじゃなくてね、平均をしてもいいかどうかっていうのの中で、これはこれこれどういうことを言ったからね。
0:32:29	平均運営的にとってもいいじゃんっていうことなんだよね。はい。うん。
0:32:39	同じ2番
0:32:41	取るっていう方に、ずっとやってるんだけど、ここ入れて、ここは早野に今衛藤コジマコウ。ミナミナイトウコウ断層は入ってるので、一気にこれをずっとこう止めちゃってるんだけど、
0:32:54	ババイシタばっていうので、訳せば同じ基盤とみなせるところが存在するのになんていうところに、
0:33:01	着目してないというのは、
0:33:03	おっしゃる通りだと思います。
0:33:05	全部よくわかったね。はい。ありがとうございます。
0:33:12	津野越野加古の二つにするかそこはちょっと良く考えれば、だから、すごい簡単なんだよ。データを見てないんだよ。はい。
0:33:21	建物見に行っちゃってんでは、
0:33:25	そうですね、でね、これはだからさ、建物の直下または近傍のデータを主軸にっていうその建物を設計するときの話としてはね。はい。
0:33:35	うん。呉なんだよね。はい。
0:33:38	ていうのが先行して建物建物を設計する場合で考えるだけだから、このデータ見たときに、データセット決まったでしょうね。
0:33:48	だけ決まった範囲でちゃんとフル活用するってことだよな。
0:33:53	間違いなくこの9-3を使ってないのは、ページ36は銀行じゃねえって言い張るしかないよね、このまま行くんだったらね。

0:34:03	うん。でも最初にそういう金ボードって言ったじゃないですからそういうことも成立しないってことですよね。あれはちょっと積んでる気がするよね。9-3 を使ってないところは完全な、
0:34:15	はい。資料不足です。はい。
0:34:19	はい、理解しました。はい。
0:34:20	ちょっと同様ですね。はい。それで、
0:34:24	で、
0:34:26	説明、今回、ちょっと今の乗馬の話は別として別として、二つ残しますまで行って6 ポツ1、2、
0:34:38	うん。
0:34:39	6 ポツの、
0:34:46	20、
0:34:54	はい。
0:34:56	ここの、
0:34:57	としては、平均しちゃいけないってことだと思っておりますので、いわゆるR、
0:35:04	マトリックスⅡ、
0:35:06	沸石それぞれ設定します。
0:35:08	今、旧さんが入るかもしれない
0:35:11	別にハラに、徳田諏訪。
0:35:14	ここまで来たとか、今もこの言葉だけど、ポーリング孔が、
0:35:20	ね。
0:35:21	主語になってるんだけど、だからね、上振れする。だから宇和盤とか下盤とかっていう世界にするのか、ってことです。そうですね。そうですね。そうするとこの④のエリアの、はい。どういうエリアかっていう説明が、
0:35:38	もう1 回戻ると、どこかにあるんだってと、例えばこういうエリアになっていて、
0:35:47	考えないといけないよねっていうようなナカとかだったんだけど、おそらくそれが158 をちゃんと直して書かなきゃいけない。
0:35:59	そこの辺でなくて、多分ないけど、どういう地質でどうですか、何かを書いてあるよねこういう地質図見では大体わかるけど、
0:36:10	ちょっと今タテヤスタ。
0:36:11	注目した、ちょっと書きぶりになっちゃうんですがこれがちゃんと適正化する。
0:36:15	別府湾ではこういうキタノでこういう使うってのはそこは、5 ポツもちゃんと直しとか何とかっていうじゃないですか。

0:36:29	ニイヌマじゃないので、225 ページにちょっと戻っていただいて今ご指摘 ありました通り、宇和版の
0:36:37	8 番については、このデータに基づくヤスダのデータに基づくモデルをそ れぞれするんですが、タマウチの言い方すると、上盤側このデータに基 づきます、下盤側はこういうふうにしますとか、はい、そういう。はい。
0:36:52	これはね。両方がまじってるので、
0:36:58	こうしますとか。
0:37:00	多分それぞれをやっていかないといけないので、はい。この、
0:37:05	一番×2、2 コウの扱いというのは、いやちょっと難しいなと考えなきゃい けない。
0:37:11	そこで、
0:37:12	完全に 9 度さんが、
0:37:14	北川 9-4 がメンバーで、この
0:37:18	うん。ただそういうのがもっと前。なんかね何かが、取り扱いの話が書い てあるわけですよ。そうであればこっちに来たらもうオーバーした場合、
0:37:28	どういう使わないね。
0:37:31	はい。
0:37:32	理解しました。はい。
0:37:35	そのままそのカセた裁判、七つはas-is
0:37:40	で、
0:37:42	170
0:37:44	別と 275 ページ。
0:37:47	はい。
0:37:49	金地域は、
0:37:55	説明は、いや、結論がないじゃん。
0:38:02	270H1 が大丈夫 271。271 万 271 に行き着く物語。
0:38:13	だったんだよね。はい。そうですね。はい。はい。では先ほど 6 ポツで決 めた、各エリアの平均化しちゃいけないな、の数だけ出てきた。
0:38:24	アズイズの地下構造の部分、それを基本地盤モデルに設定します。
0:38:31	いや、そうじゃないんだよねここだからさ。
0:38:34	なんだな。
0:38:35	お母さんん。
0:38:37	これってどうなんのFMも入ってるし、何したいのっていう、
0:38:45	なんだけど、はい。はい。もともと皆さんがこれまで説明とか何かでした いの、

0:38:54	ヒガシー4は、中途半端なところに乗っかっちゃって、どっちが主体だかよくわからないんだよね。うん。だからよくわからないっていうのはないよね。はい。
0:39:09	だからね。
0:39:12	両方の下盤の両方、どちらかだからこうね、優勢で来るのかとか、そのねはい。
0:39:20	伝達特性的にはよくわかんないわけだよね。はい。これ二次元でも何か何かやりたくないよねっていう、ちょっと入ってる中、
0:39:28	両方は伴の、
0:39:31	ワンデイた堂下伴データがあって、タケノのを行って、それぞれ単独のようにあって、おっきい方を基本的には用い、
0:39:44	いるんですよ。はい。
0:39:45	ていう。
0:39:46	ことなの。はい。
0:39:51	だから両方やりますよ。
0:39:53	ていうのと、FEM。
0:39:57	使えます。
0:40:00	ババとした場合、両方でやるんだけど、実際ここの建屋の下というのは宇和盤と下盤が、断層が切っていて、そのまじってる状態にあると。うん。そういうことを踏まえると、この断層による影響、
0:40:14	っていうのが、どうであるかというのはこれは2次元的な検討をしないとこれが見えな状態であるとするこの影響が、もしもセキに対して影響をおよぼし得るんであれば、考えなくちゃいけない。
0:40:28	うん。はい。もうちょっとすごい簡潔で言って、はい。そうすると、ここの書き方が、はい。決まってくるんだけど。はい。
0:40:37	順番はどういう順番でやるの。
0:40:41	4番ですか。4番は、そう。はい。
0:40:46	不破坂野や辻田伴のやつでも、F、2次元、はい。三つやって、
0:40:52	三つの順番は、データの見方が、
0:40:56	戸谷ルジャパンとしてはもうすべて平行になってるよねそれ実態なんですけど、今は上と下、嫌だからね。ただ言った物語なり、そういう考え方として、もうちょっとね、
0:41:12	わかりやすく言うとね、影響があるかどうかを確認する。うん。何の影響。
0:41:18	かって言ったらこの断層がうん。どう、どっち優勢かよくわかんないっていう、どういうふうになるかわかんないわけで、まず二次元でやってみて、うん。ね。

0:41:30	どういうねっていうのと二次元でやったものと両方のものを比較して、うん。単独のものでいけるかどうかの検討をしようとしてるのかっていう。
0:41:43	ね、何なのっていう、もうね、単独のものありきでね。うん。2次元やってみておらずね、ちっちゃいでしょって。
0:41:53	ねっていう見方なのか。
0:41:55	ね、粗相言葉が変わってくるわけですよ。
0:42:01	多分、二次元、
0:42:02	これまでお答えありきでまた怒られ、
0:42:05	二次元、そうですね、2をやって単独とも比較して、
0:42:11	包絡できるやつを使うね、矢田コウ暴落っていうよりも、
0:42:16	単独でやって差し支えないことを確認するのかなんだけど、だからそうそういうところをねこ言葉をちゃんと選んでたこういうところって、ものすごく重要なんですよ。
0:42:29	ね、合言葉拾って作っても、なんかもう意味不明なっちゃうんだよ。
0:42:35	シンクってないわけだよ。
0:42:38	ここはほら結果の対象を、
0:42:41	語るわけでもないわけでしょ。
0:42:43	だからそういうことも踏まえると、
0:42:48	最終的にはなんかね多分三つのうちおっきいやつ使うしかない。
0:42:53	ないのかもしれないけどそれはそれでいいんだけども、
0:42:57	だからどうなんですかって言った時にそれを考えると、
0:43:02	結局、
0:43:04	この三つをちゃんと比較検討して、はい、工学的になっていうと、そういう使い方になるわけでしょ。はい。
0:43:14	うん。
0:43:15	今、今の書き方は、ウエマツ1、ちょっと名前が違いますけど上ありますしてあります。
0:43:22	混乱してるんで二次元で見て、
0:43:26	大丈夫なのか、ウエダ大丈夫とか書いてないじゃん。
0:43:30	これがね段差、影響が認められる場合は、FMを使う。
0:43:36	というような意図はあるんです。
0:43:39	ただ、ハヤシダと、今の話だとちょっと三つやって、
0:43:45	やってそれを公的に判断するという書きの方が正しいのは坂単独裁判単独、合わせ技のFM、それぞれやってみて、
0:43:54	それらを合理的に判断して、モデルを使うものを決めるというのが、順番。
0:44:01	並列だ。

0:44:02	あその今変えなかったけどいやいやどういう意図なのかよくわかんない。
0:44:08	今、すいませんやり方間違っていましたけども、単独単独ややって、
0:44:13	いやだからそれは実は頭の中で、単独が寄付基本でこれでやるんだっていうのが先行してるんですよ。はい。
0:44:24	だから、単独がでいいかの善し悪しを判断するためにFEMやるのか、それとも、こういうふうになってて、よくわかんないから、
0:44:35	三つのね。はい。三つとも全部やりますっていうロジック救う説明ロジックなんか、
0:44:43	ここ、今議論していて黄砂というのは理解できます。麻生先生の頭になってます。はい。減産だと思い前者なんでしょ。
0:44:53	弊社の頭になってた。いや、さっきおっしゃっていた違うんだよっていうのはね、いや1どっちでもいいよ。ですけども、ヤマジのイダでやって、
0:45:04	このありようっていうのをまず、Hyaloで底版と下盤のその1次元のモデルを設定するわけですけども、この両方と比較して、
0:45:14	単独のこのモデルで、この設計ができるのかどうかというのを、この時点と比較で確認すると、この時単独でやれるならやれるというのでこれ設計に行くし、やれないなら、もうこれは単独のモデルでは、設計ができないという判断になるので、
0:45:29	ここの時にはもう2次元のモデルをもうそのまま使って設定いたしますというのが答えだということならそういうふうな流れなのかなと。うん。それは決めればいいと。はい。
0:45:43	です。そう。
0:45:46	あと、今の、
0:45:48	野元さんのだと、何か1個あって、
0:45:52	全部二次系。
0:45:54	ある。
0:46:00	でももともと1ヶ所だからいいんじゃない。そういうことないよねこれ。今、今のこともちょっと日本語だけでちょっと同じようなことで、
0:46:12	今ん直していくことを私は三つやって、
0:46:16	どれがどう組み合わせになるのか、単独で使えるかいろいろパターンある後、崩落という言葉終わりにしても、工学的に判断して使えるモデルを確定していくというのは、うん。我々は取りミズタかな、
0:46:31	だから、どっちを先やってどうだからではなくて、三つをやって、
0:46:37	比較検討してコウ的に、
0:46:40	判断していくっていうのが答えかなと。

0:46:42	認識がになってるんですよ。はい。
0:46:46	違うだけの処遇認識をちょっとそこはちゃんとねはい。整理してね。
0:46:52	こういうちょっとねすごい曖昧なね、書き方っていうのは、これ方針だけになってない。曖昧だから。はい。ちょっとね、今は、
0:47:03	単独、上側になってますけど、合わした番やって、うん。ちょっとごちゃごちゃしてるんで二次元母屋 2 件で検証しますっていうな書き方になってます。
0:47:14	そうです。
0:47:16	ちょっと先進んだような言い方して申し訳ないんですけど、
0:47:20	二次元でやったときに、厳しいところが出てきますよと。うん。なれば、それを、
0:47:27	対応していかなきゃいけない。
0:47:28	いうのはわかるんだと思うんですけど。
0:47:32	二次元だと小さくなった場合に、
0:47:39	事業を使いますっていうのは、保守的だからいいんですけどっていう。
0:47:44	判断される効果ですか、そういう。うん。
0:47:48	そうしたいと思ってます。
0:47:52	この辺りが、工学的に本当にそれが正しいのかってのがいまいよくわからない。うん。
0:47:59	そうですね。そうですね。1、それが全部効くのかって聞きます。はい。そこはなぜかっていうと、はい。
0:48:08	いや、原燃さんはいつも保守的だからいいんです。いつもいるので、うん、そうじゃないでしょっていうのは、何回も言われ続けているわけでそこに何か回答をして、
0:48:20	回答は変な感じ。ある意味、やってみて肯定的な判断をする中の答えの答えの中には、
0:48:27	それまでやってないんですけど、三つとも使うというのも当然、
0:48:31	高額ではあったと。
0:48:35	晶それは明らかに 2 件だったら、ものすごくよくて、
0:48:41	ウタヤマガタかければそんな判断もあるんでしょうけども、
0:48:44	微妙な点になってきた場合、コサクさんのおっしゃる通り、本当にそれで押してきてくれる。はい。多分ね、今だからその判断がないっていうのは、結局、例えば、
0:48:56	機器のね、こういう周期だとかいろんなものとの関係によって工学的に判断がされるべきものなんで。なるほど。
0:49:07	だからこの段階ではまだよく、どれを選択すると言えないって。波を見てね、チェックしてというその次の波を作った後のね。

0:49:20	考察なり考えの段階で判断をしていくって言ったところがある種のイタレーションじゃないんだけど、チェックが入って、全体として、
0:49:29	できたら、またそういうことなんだよね。はい、尾崎です。私もそう思っていて、単純に大きいか何とかっていうこれまでも
0:49:40	木曾呉のところの、
0:49:43	応答スペクトルだけで話をされているところにまた帰着しちゃいそうなので、
0:49:48	工学的判断ってなんだと思ってますっていう意味で聞きしてですね、そこであれば基本的には並べて置いておかないと、次につなげないんだろうなというふうに、
0:49:59	これは保守的っていうのは、当然工程は池設計だから、ただ様々なものが、そこで、
0:50:06	こう入ってるんで、それはちょっとやってみないと今ここで結論も書けないとおっしゃる通りですので、ここは今日本が抜けてるんですけどここは三つへ並列記載してコー尔的に判断して参りますというのを、
0:50:19	なるほど下がるっていうその工学的判断の意味とか、はい。結局これわからないわけですよ。どれを設計に用いていいかイマダ判断がつかねますということなんでね。だから、
0:50:32	三つ一応やってみて、
0:50:35	応答とかいろんな設計の反映として適切なものを、
0:50:41	こう考えていきますというそういう意味で、
0:50:47	全数やるかさ別にそれ代表ケースでちょっと考えてみるっていうのはあると思うけどね。
0:50:54	はい。ご指摘の趣旨、理解いたしましたので、
0:50:59	記載を少し改めたいと思います。
0:51:08	ちょっとすみません頭がね、もうすでに、この二つやってしまった上に、二次元払ったんで、プラスしてる人間を変えてしまってるっていう、そういうちょっと頭の構造になってたというのが、これ、やっぱり、
0:51:22	今日、
0:51:23	ちょっとやったのが、元から説明してくださいって言ったでしょ。はい。
0:51:28	根井でこうこういうことをつって常にやっていってくださいねっていうことなんですよ。
0:51:36	全体のし説明しないとかね。ちゃんと一貫しているのかなチェックは、全部1課全体にするのがいい、いいかな。はい。
0:51:47	そして頭からもう1回みずから丁寧にチェックをしていくと。うんとか。
0:51:54	っていうのは、

0:51:55	見つかっていて、こいつを、結局ね、最終的にまとめ上げるまでに何十回何百回繰り返されるわけですよ。
0:52:04	そのチェックが、それが重要なんですよ。はい。
0:52:10	そうすると自然にシナリオを、
0:52:14	覚えていくし、理解するし、
0:52:16	我々はね、毎回こ頭からずっと見たりしてるからね。
0:52:23	そういうチェックになって、ここを何かやると、こっちおかしくなっちゃうんじゃないかとか。はい。そういうのが見つかるでしょう。それは毎回ね、みんなこ頭からね。
0:52:34	全部細かく見てるとねそれぞれあれだけどやっぱりそういう部分をね、
0:52:39	訓練されてるからさ。
0:52:42	わかる。
0:52:44	やってないでしょ。
0:52:46	そういうのがあっちゃてる人は、そういう見方をしてもらいたい。
0:52:53	そうすると、
0:52:54	入ってきちゃう姿勢で動いちゃう。
0:53:02	100 か 200 海田って見ると、はい。
0:53:11	はい。そういうことで次 14 のご指摘の内容は理解いたします。もう 1 個の方は 61 条に、ここに外間田代ですんで、
0:53:24	できたら、
0:53:25	はい。
0:53:26	ついてるんだけど、もう 1 個は、中央だけでも話ができると思うんですけども、一応、
0:53:36	236、
0:53:41	南部。
0:53:42	江藤講師のところの 1236 ページのところの減衰のところを、
0:53:49	そうですねふた比嘉さんの扱いといったところの、少しまたこれを変えて、
0:54:00	2 本ある、ちょっとさ。
0:54:02	その話もさっき金戸。
0:54:05	でもいいんだけど、
0:54:08	日本地盤モデルっていう基本って何。
0:54:13	設計を地盤モデルということなんで、そうじゃなくて、はい。これはね、よくわかんないばらつきだとか、不確かさだとかっていうのが入ったときに、この基本っていう言葉は、
0:54:25	どういう意味を持つんですかっていう
0:54:29	これはだから設計に用いる地盤モデルは、単に地盤設計、

0:54:36	地盤の中の基本ケースという部分だと。
0:54:40	うん。もう、この基本ケースってやつも出てくる。はい。ばらつきを考慮したケースみたいなのが、のちのち出てくるわけだけど、
0:54:48	そうして基本地盤モデルと呼ばれてるのか、どういう物の使い方をしてるんですかっていうのが、
0:54:57	迷いユキになりました。はい。
0:55:02	基本係数が強調して、
0:55:08	それはわからない。
0:55:11	そうですね。気持ちは持てるという使い方は、この御説明のですね 10万円からそしたら基本方針にばらつきなんか入ってこないんですよ。はい。はい。はい。説明等も上司はここは違うと思うんですねセキ
0:55:29	用いる地盤モデル＝基本地盤モデルではなくて結アノセキ用いる地盤モデルは、ばらつき不確かさも考慮するものを交換して、セキにおける地盤モデルになるはずなのでどうぞ米田唐木って言ってるんだよね。使い方がおかしくなってるよね。はい。はい。
0:55:47	だから、別に設計に用いる地盤モデルは、単に地盤モデルって言うた形のものでしか今ないんじゃないの。うん。
0:55:54	はい。その基本ケース。うん。はい。原則の基本ケースというものと、何か考慮したケースっていうのが実態的に存在するんじゃないの。うん。
0:56:07	田畑区長、こういう。はい。
0:56:09	言葉の使い方もあるでしょうね。236 はここ方針書いてるところなので、わかんない。いやそこにばらつきの話なんか毎回なくてさ、基本地盤モデルってさ、
0:56:20	もう何かずっと使ってたらさ、良い、
0:56:23	何か言ったんだけど、うんといっぱい直さないといけない。
0:56:30	よろしくどうぞ青島さん。はい。
0:56:33	谷口地盤モデルというのとキムラモデル、ちょっと使い分けをするっていうモデルなんだという、何かよくわかんないところなんですよ。
0:56:45	まず敷地の減衰上、以下の通り、何だかというより、まず、
0:56:53	1 の減衰定数の基本は他もみんなそうなんだけど、
0:56:59	ね、観測なり、られたデータをもとに設定したもつていうのが、
0:57:07	もう基本となってるんじゃない。
0:57:10	そういうものがさ、ちゃんと書かないといけないんで、
0:57:15	そうしないと以下の通り大きくなるとか、小さくなると言われてるんで、と。

0:57:19	これまず自分たちが知って、この減衰定数っていうのは、もうコマツなり何かでね、ここの上でね、やったらそれはだからデータに基づく敷地地盤でとれたデータに基づき設定することが原則論になってるわけですよ。はい。
0:57:35	音としつつもったよね。ね、データが。
0:57:40	少ない。
0:57:43	ていうのもあるわけだよ。データの数が、
0:57:47	少ないとかっていうと、もうそれぐらいだよ。
0:57:52	で、
0:57:54	もう、何だっけあそこの複雑な時重要みたいな、ちょっとね、レアなものもあったりするわけだよ。
0:58:03	だから、
0:58:05	そういうもろもろを考えると、
0:58:08	不確かさがあるかどうかわからず不確かさかどうかよくわかんないけれども、
0:58:13	だからね、そういうデータナカ設定。
0:58:17	したものを、
0:58:19	で、
0:58:20	と。
0:58:21	いうことだよ。はい。
0:58:23	基本とするんだけどデータは数少なかつたりするところもね、場所によってはあるわけだよ。十分なね、
0:58:34	数々。うん。
0:58:35	ないと思う。
0:58:37	ありますと、よって、設計、
0:58:41	設計上のあれだよ。今度ね。うん。もう踏まえてだよ。工学的に判断してっていうことだよ。一応、
0:58:50	上記で設定したってのがよくわかんないんですね。上級設定してないからさ。
0:58:56	限定する。はい。はい。
0:59:00	基本とした設定値ってね、何らかにっていう基本っていうかね、要するに、データに基づき設定した値に対し、1%減、小さいものをもう、
0:59:12	うん、のケースも考慮しますっていうだけです。ただそれが不確かさなのかどうか。はい。
0:59:19	不確かさっていうのはよくわかんないものが入ってるんだけど、設計上の配慮、工学的判断と不確かさが、言葉として釣り合っていないわけですよ。

0:59:34	だから不確かさっていうのは、具体的に不確かさなんですかって。
0:59:39	ていうのはね、それは不確かさのケース値で工学的判断っていうのは、何が入ってるんですかっていうところに、
0:59:48	ここで様々なものが入ってこんちゃってんじゃないですか。はい。
0:59:54	ね。はい。
0:59:56	ね。だから言葉がなく釣り合っないよね。はい。
1:00:00	あとこれがさね、この一つの
1:00:04	二つ目はさ、こっちは大きくなる話なんだけど、
1:00:08	これは今の話の中にどう組み込まれる関係ないっていう。
1:00:13	そうなんですかね。
1:00:15	私、不確かさ。
1:00:18	事業であって、
1:00:36	何がどう使われてるか
1:00:40	は原則は、データのデータに基づき設定しましたと。ただしね、データが少ない。いいところなので、そういう意味では不確かさという言葉使ってますよね。はい。
1:00:53	その一方でなんだよね。はい。一方で、使ったたなりは、やはり東ソーでそういう観測記録っていうのが、小さい。
1:01:04	今回おっきいものなので、
1:01:07	一方で、設定したものより大きい可能性も含まれて、そういう要素も含まれていますよと。
1:01:16	それもある種の不確かさなり、推測もそういうのもできると。
1:01:23	いう中で、
1:01:25	そうそういう中で、じゃあ次どうしようかっていうことなんでね、一方で設計、安全設計をする上での、
1:01:37	ね、向こう量も含めて、工学的に、
1:01:41	こういうふうになんとかちっちゃくて、
1:01:43	見ますよ。ただし、2%、3%も過剰なものとしている必要はない1%の合理的な理由なり、
1:01:53	っていうのは、プラスもマイナスもあるかもしれないという、
1:01:58	ばらつきのナカ分。
1:02:00	ていう、そういう意味合いになってくるんじゃない。
1:02:05	みたいことはそういうことですか。
1:02:09	原則データ。
1:02:12	さっき少ないけどさ、原則データに基づく大きくなることもあるけども、とは言いながらもデータが少ない、多分、

1:02:20	まず事実は、データは少ないんでやっぱりそれですから、いや、事実に基づいていくんでやってくね、おつきくなるところはちょっと推測なんだよね。はい。
1:02:31	だってさ、
1:02:33	下支えのデータがないんだもん。
1:02:35	そういうこともある。一般論的にそうなるっただけだよ。はい。C、ある程度ひずみの値で見えてるけどそれは採用してないわけよ。はい。皆さんは、
1:02:49	データに基づくとところで投票ができないので、
1:02:52	データが少ないというのは、誰がどう見たって少ないよなと思ったよね。
1:02:57	ここでもう1個、
1:03:00	コウでぐらい。
1:03:04	そういうデータもある。
1:03:09	結局全体の検討が小さな地震動レベルで、やったものをなんですよという、ある種のいいわけで。はい。
1:03:23	やらない。
1:03:29	優先なものをコウや、
1:03:37	かなと思っております。
1:03:39	確かされると我々ナカミギタします。この使い方と、
1:03:43	そうするとね。はい。もう時間あれだからはい。最終ページがおかしいんだよ。
1:03:51	今と難しいんだけど、今、ばらしとかを含めて、ばらつきもありますと、ただ一方でこういうことあって最終的に工学的にこういう設定をセットしましたが、このばらつきが今度、
1:04:04	何かさ、ね、違う言葉の中に入っちゃって、同列になっちゃったでしょ。
1:04:10	ね。
1:04:11	ね。だからばらつきっていうのは、物性値のはばらつきっていうのは何のばらつきを意味してるわけだよ。
1:04:19	ね。一方で今回の減衰定数、工学的判断、マイナス1%だけ見ますのでね、これ全然意味合いがさ、違うんだよね。
1:04:30	一緒にしてしまう。単に、
1:04:41	ていうのが、ちょっと、はい。
1:04:48	そうするとね、グーンとちょこちょこ不確かさのケースとして4%とか、まあまあいろんな値が、もう言葉がさ、何かよくわかんなくなっちゃってるのでね。はい。
1:05:03	さっき工学的判断って言ったじゃないっていうんで、不確かさって言うてみたり今度ばらつき

1:05:11	で見たら、
1:05:21	行っちゃったけど、
1:05:36	大丈夫。
1:05:43	横江。
1:05:44	千田付で、
1:05:50	いただいたので最終ページもそうですし、途中の方針も直さなきゃいけないそういう方針に基づいて、結果のところもちょっと直さないといけません。お願いします。はい。
1:06:01	はい。
1:06:03	咀嚼していっちゃったけど、
1:06:08	まだ言葉
1:06:12	ねえ。
1:06:14	はい。
1:06:15	どうすんの。
1:06:17	修正して、出し直させていたきたいと。
1:06:22	昔はちょっと何か無理である。
1:06:31	そういう頭の中、
1:06:41	十時はい。
1:06:44	はず。
1:06:46	そういうことで、はい。
1:06:47	わかります。大丈夫。
1:06:54	はい。
1:06:56	うん。
1:06:57	規制庁からの見学の内容ですのでこれでヒアリングを終了したいと思います。停止いたします。